

■杉浦重剛 教育家, 思想家。野に在って, 神経衰弱と闘いながら, 西洋科学を背景に特異な国粹主義を提唱。

すぎうらじゅうごう

安政大地震・1855= 近江国膳所(大津市)で, 膳所藩の藩儒杉浦重文(蕉亭)の次男に生まれる。幼名は讓次郎。

生まれつき病弱で,

安政の大獄・1859= 4歳: なお, 母に背負われて, 囚人として軍駕籠に乗せられた頼三樹三郎と梅田雲浜に遭遇し, 衝撃を受ける。

桜田門外変・1860= 5歳:

遣欧使節・1861= 6歳: 藩校遵義堂に通い始め,

家では, 母の労働を手伝い,

禁門の変・1864= 9歳:

薩長同盟・1866=11歳: 高橋坦堂に弟子入り, 素読を受けて感銘受けるも, 高橋が勤皇党の獄に連座して処刑され,

大政奉還・1867=12歳: 黒田鞏露に入門して, 学問上の薫陶を受ける。

明治維新・1868=13歳: 京都の岩垣月洲に弟子入り,

初の日刊新聞1870=15歳: 元服して重剛と名乗り, 父の始めた漢学塾を手伝ううち, 鞏露とは疎遠になるが, 鞏露の推薦で, 藩の貢進生に選ばれ, 大学南校に入り, 最上級にいた小村寿太郎と生涯の友になる。猛勉強し,

佐賀の乱・1874=17歳: 最上級に追いつく。

明治6年政変 1873=18歳: 制度変更で東京開成学校となり, 新校舍落成記念に明治天皇の御前で講演の榮譽。この年, 月洲が死去。

佐賀の乱・1874=19歳: 母が死去し, 衝撃。

三つの反乱・1876=21歳: 第2回政府留学生として, イギリスに渡り, マンチェスターのオーエンカレッジで, 化学を学び,

共同で書いた論文が認められて, ロンドン化学会の終身会員になる一方, 神経衰弱で転地療養,

肺も冒されていることが分り, 帰国。東京大学理学部博物館掛取締を務めながら, 療養し,

明治14年政変 1881=26歳: 回復とともに, {東洋学芸雑誌}を創刊, 親友千頭清臣の妹久寿猪と結婚。

新体詩抄・1882=27歳: 東京大学予備門長となり, 教育家としての歩みを始める。高島吞象(嘉右衛門)から「高島易断」を贈られ, 共感を覚えて, 以後師事する一方,

岩倉具視没・1883=28歳: *自宅に{称好塾}を主宰し, 古島一雄を皮切りに, 青少年の教育に力をつくし始め,

秩父事件・1884=29歳: 著書「鬼突子」で“理学宗”を提唱し, 人事の解釈に理学の応用を説いて, 国粹主義運動でも異彩を放つ。

内閣発足・1885=30歳: 東大を退いて, 読売新聞論説に従事。

帝国大学始・1886=31歳: 未解放部落民の南洋移住論を提示した「焚喰夢物語」も, 国権論的部落解放論の先駆として注目される。

国民之友始・1887=32歳: 小村寿太郎らと{乾坤社}を創設し, 井上外相の条約改正案反対運動に参加。政教社に加わり,

初の対等条約1888=33歳: 雑誌{日本人}発刊に尽力, 国粹主義を唱道。森有礼に請われ, 文部省参事官兼専門学務局次長となるが,

帝国憲法発布 1889=34歳: 新聞{日本}の創刊にも尽力し, 陸羯南を起用して大成功となる。森が暗殺されると, 退官し,

帝国議会始・1890=35歳: 東京英語学校長となる一方, 条約改正案反対の{日本倶楽部}を結社し, 衆議院議員に当選,

足尾鉍毒始・1891=36歳: 大成会に所属すも脱会し, 議員を辞職。天津事件が契機となって勝海舟と懇意になる。

大本教・1892=37歳: *大火焼失を契機に, 校名を日本中学校と改め, 没するまで校長を務める。東京朝日新聞論説員となり,

日清戦争始・1894=39歳: 高島吞象の「高島易断」が完成すると, その英訳を行う。

白馬会・1896=41歳: 佐々木高行の知遇を得て, 国学院の学監となり, 皇典講究所にも関与,

Bushidou・1899=44歳: 再び, 神経衰弱となる。父重病に帰郷し看病するも, 帰京後, 父が死去。

ピアノ国産化・1900=45歳:

田中正造直訴1901=46歳: 近衛篤磨の要請で, 東亜同文書院院長に就任し, 中国に渡るも, 重い神経衰弱となり, 断念して帰国。以後, 長期療養生活。

日比谷公園・1903=48歳: 高等教育会議議員に任命されるも, すぐに辞職。以後, 青少年教育に専念することを決意。

日露戦争始・1904=49歳: この年まで, 東京朝日新聞論説員を続けた。

日露戦争終・1905=50歳:

満鉄発足・1906=51歳: 周囲の人たちが諦めるほど病状悪化するも, 教え子で医者となった高田畔安の献身的看病で,

アヲヲ創刊・1908=53歳:

伊藤博文暗殺1909=54歳: 奇蹟的に回復。

韓国併合・1910=55歳:

大逆事件判決1911=56歳: 刎頸の友小村寿太郎が死去。

明治天皇没・1912=57歳:

第一次大戦始1914=59歳: *倫理担当の東宮御学問所御用掛に推されるや, 心血注いで献身し,

本格政党内閣1918=63歳: 久邇宮良子が東宮妃候補となって以来, 山県有朋が画策し,

大暴落・1920=65歳: 宮中某重大事件に至る間, 退任し, 自決を覚悟してまで山県の誤りを阻止,

原敬首相暗殺1921=66歳:

関東大震災・1923=68歳: 宮中某重大事件が世間で紛糾の極に達する頃から, 衰弱が著しくなり, 母の五十回忌法要を営み,

護憲三派圧勝1924=69歳: 東宮ご成婚を見て, 没した。